



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 豊和工業株式会社
コード番号 6203 URL <http://www.howa.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂野 和秀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部門長 (氏名) 石原 啓充

TEL 052-408-1001

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,854	4.0	769	△24.7	743	△24.3	657	△21.4
23年3月期第3四半期	16,212	22.0	1,021	—	981	—	836	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △42百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 799百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.25	—
23年3月期第3四半期	6.67	—

(注)添付資料8ページ「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、為替補填金につきましては、従来、受取補償金に含めて営業外収益に計上していましたが、当第3四半期連結会計期間より売上高に含めて計上する方法に変更いたしましたので、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,161	11,303	44.5
23年3月期	26,406	11,356	42.6

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 11,207百万円 23年3月期 11,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※現時点での平成24年3月期の期末配当予想については未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	3.6	870	△37.0	910	△30.7	840	△11.8	6.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	125,481,348 株	23年3月期	125,481,348 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	167,864 株	23年3月期	166,175 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	125,314,328 株	23年3月期3Q	125,331,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低迷した経済活動は回復傾向にあるものの、欧州の財政・金融不安、欧米の景気停滞懸念、円高の長期化などにより、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下で、当社グループは3ヵ年中期経営計画の2年目を迎え、改善活動やアウトソーシングの活用などでコスト削減を図るとともに、中国に新たな海外拠点となる子会社を設立して企業活動のグローバル化を進めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、工作機械、火器などが増加したことにより、前年同四半期に比べ4.0%増の16,854百万円となりました。

利益については、建材が減収及び操業度の低下により利益減となったことなどにより、営業利益は前年同四半期に比べ24.7%減の769百万円、経常利益は前年同四半期に比べ24.3%減の743百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ21.4%減の657百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、251億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億44百万円減少しました。これは、主として投資有価証券の時価評価による減少によるものであります。

負債合計は、138億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億91百万円減少しました。これは、主として短期借入金の減少8億9百万円と、長期借入金の減少8億7百万円によるものであります。

純資産合計は、113億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少しました。これは、主として利益剰余金が6億57百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が6億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では平成23年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,464	2,784
受取手形及び売掛金	6,221	7,251
有価証券	1,012	1,793
商品及び製品	416	501
仕掛品	3,040	2,773
原材料及び貯蔵品	261	250
繰延税金資産	41	41
その他	271	460
貸倒引当金	△25	△29
流動資産合計	15,704	15,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,781	2,653
その他（純額）	2,133	2,017
有形固定資産合計	4,914	4,670
無形固定資産	22	22
投資その他の資産		
投資有価証券	5,097	3,785
その他	862	1,043
貸倒引当金	△194	△187
投資その他の資産合計	5,764	4,641
固定資産合計	10,701	9,334
資産合計	26,406	25,161
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,508	3,747
短期借入金	2,326	1,517
1年内償還予定の社債	426	408
未払金	17	110
未払費用	555	640
未払法人税等	75	40
未払消費税等	132	36
賞与引当金	231	114
役員賞与引当金	4	5
工事損失引当金	4	—
その他	141	235
流動負債合計	6,423	6,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	638	700
長期借入金	1,775	968
繰延税金負債	1,215	612
退職給付引当金	4,172	3,977
環境安全対策引当金	124	124
資産除去債務	75	76
その他	624	543
固定負債合計	8,625	7,001
負債合計	15,049	13,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,019	9,019
利益剰余金	522	1,179
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,524	10,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,723	1,025
その他の包括利益累計額合計	1,723	1,025
少数株主持分	108	96
純資産合計	11,356	11,303
負債純資産合計	26,406	25,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	16,212	16,854
売上原価	12,885	13,824
売上総利益	3,326	3,030
販売費及び一般管理費	2,305	2,261
営業利益	1,021	769
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	111	135
助成金収入	14	9
雑収入	99	46
営業外収益合計	228	193
営業外費用		
支払利息	114	66
デリバティブ評価損	7	4
遊休資産維持管理費用	43	43
雑損失	102	104
営業外費用合計	268	219
経常利益	981	743
特別利益		
固定資産売却益	10	15
固定資産処分益	0	0
投資有価証券売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	8	—
その他	—	0
特別利益合計	19	17
特別損失		
投資有価証券評価損	20	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57	—
製品安全対策費用	—	43
固定資産売却損	0	0
固定資産処分損	1	1
その他	3	0
特別損失合計	83	50
税金等調整前四半期純利益	917	710
法人税等	69	55
少数株主損益調整前四半期純利益	847	655
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10	△1
四半期純利益	836	657

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	847	655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△698
繰延ヘッジ損益	3	—
その他の包括利益合計	△47	△698
四半期包括利益	799	△42
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789	△40
少数株主に係る四半期包括利益	10	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火器	建材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,627	3,668	1,965	275	1,690	13,227	2,985	16,212	—	16,212
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,355	1	0	9	250	1,617	493	2,110	△2,110	—
計	6,983	3,669	1,966	284	1,941	14,844	3,478	18,323	△2,110	16,212
セグメント利益又は 損失 (△)	246	408	△38	235	70	922	99	1,021	0	1,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建機等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火器	建材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,649	3,913	1,198	263	1,720	14,745	2,109	16,854	—	16,854
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	550	4	—	10	187	752	505	1,257	△1,257	—
計	8,199	3,917	1,198	274	1,908	15,497	2,615	18,112	△1,257	16,854
セグメント利益又は 損失 (△)	284	311	△255	222	77	640	125	765	3	769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建機等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去3百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

為替補填金については、従来、受取補償金に含めて営業外収益に計上していましたが、当第3四半期連結会計期間より、売上高に含めて計上する方法に変更いたしました。この変更は、為替相場の円高基調が長期間定着し、今後も当該状況が継続すると見込まれ、為替補填金の金額的重要性が高まったため、営業収益の一部として収益管理する方法に変更したものであり、セグメント別営業損益の実態をよりの確に表示するために行ったものであります。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、火器の当第3四半期連結累計期間の売上高、セグメント利益が、それぞれ135百万円増加しております。

なお、変更後の計上方法により作成した前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）」に記載しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、火器の前第3四半期連結累計期間の売上高、セグメント利益が、それぞれ80百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。